

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床医学総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	酒井 寛	実務経験とその関連資格	医学博士。国立循環器病センター病院、国立病院機構(大阪、京都、舞鶴など)に勤務。この間、病院付属の看護助産学校、リハビリテーション学院の講師、大阪大学医学部保健学科臨床地教授、国際協力事業団専門家 など。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士が現場で遭遇する疾患について病態、症状、所見、治療など基本的な内容について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて記述試験をおこなう。その平均点評価:70% 出席評価:20%。レポート提出状況など平常評価:10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新臨床工学講座 臨床医学総論(医歯薬出版) 参考書:目でみるからだのメカニズム、臨床工学技士標準テキスト、検査データ活用マニュアル、コメディカルのための内科学						
《授業外における学習方法》						
次回の授業内容を把握するため、事前に教科書の内容を確認すること。 配布する演習問題を次回講義までに解いておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床医学総論は範囲が広く、国家試験の出題数も多いため、ポイントを抑えることが大切である。解剖学、生理学、病理学、医用治療機器学との絡みも多く、疾患と関連させて理解すると記憶に残る学習が可能である。各疾患ごとに演習を実施し、理解力を確認する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義を通じての到達目標	食道疾患について腫瘍性疾患、炎症性疾患などを説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
	各コマにおける授業予定	食道癌、逆流性食道炎、食道裂孔ヘルニア、マロリー・ワイス症候群、食道アカラシア、食道静脈瘤				
第2回	講義を通じての到達目標	胃・十二指腸疾患について腫瘍性疾患、炎症性疾患などを説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
	各コマにおける授業予定	胃癌、急性胃粘膜病変、胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎				
第3回	講義を通じての到達目標	小腸疾患について腫瘍性疾患、炎症性疾患などを説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
	各コマにおける授業予定	血管奇形、メッケル憩室、上腸間膜動脈閉鎖症、偽膜性腸炎、イレウス				
第4回	講義を通じての到達目標	大腸疾患について腫瘍性疾患、炎症性疾患などを説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
	各コマにおける授業予定	大腸ポリープ、大腸癌、潰瘍性大腸炎、クローン病、虫垂炎、大腸憩室炎、虚血性大腸炎、過敏性腸症候群				
第5回	講義を通じての到達目標	肝疾患について説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。	
	各コマにおける授業予定	急性肝炎、A-E型肝炎、劇症肝炎、アルコール性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	胆嚢疾患、膵疾患の腫瘍性疾患、炎症性疾患などを説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	胆嚢・胆管結石、急性膵炎、慢性膵炎、胆嚢癌、胆管癌、膵癌		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	造血器の構造と機能を理解し、血液疾患の主要徴候を説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	造血組織の構造、骨髄の造血機構、血球の形態と機能、リンパ節の構造と機能、胸腺の構造と機能、脾臓の構造と機能		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	貧血の種類と発生機序、多血症を説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、悪性貧血、再生不良性貧血、赤芽球癆、溶血性貧血、多血症		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	白血球の疾患および白血球の増減疾患について説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	白血病、成人T細胞白血病、リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄線維症、白血球減少症、白血球増多症、造血幹細胞移植		
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	白血球の疾患について説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	急性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病		
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	白血球の疾患および白血球の増減疾患について説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	成人T細胞白血病、リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄線維症、白血球減少症、白血球増多症、造血幹細胞移植		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	止血機序の要因を理解し、血液凝固異常症の主要な疾患について説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	血管異常、特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病、血友病、von Willebrand病、DIC		
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	代表的な神経疾患について説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	脳出血、くも膜下出血、脳腫瘍、アルツハイマー病、筋委縮性側索硬化症、パーキンソン病		
第14回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	代表的な末梢神経疾患、筋疾患について説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	多発性硬化症、ギランバレー症候群、進行性筋ジストロフィー、重症筋無力症		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	これまでの重要項目について説明できる。		
		各コマにおける授業予定	これまでのまとめ		